

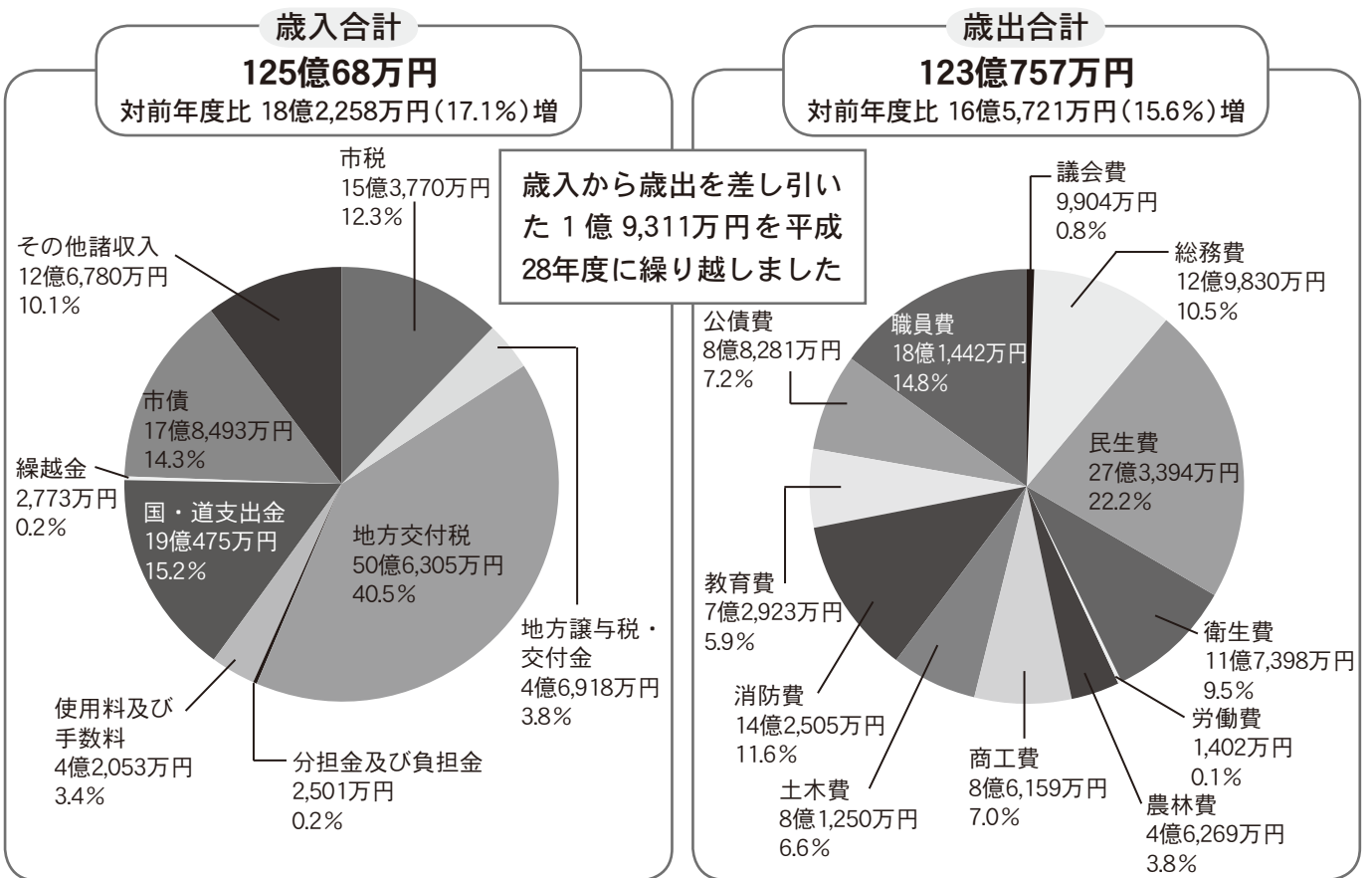
平成  
27年度

# 決算の状況をお知らせします

市は、皆さんから納めていただいた市民税、固定資産税などの税金や国・北海道から受ける交付金などを基に予算を組み立て、皆さんが安心して暮らすことのできる住みよいまちづくりに取り組んでいます。今月は、市の予算がどのように使われたのか、平成27年度の決算状況をお知らせします。

## 一般会計 福祉や教育など、市の基本的な事業の会計です。

歳入と歳出の差引額 1億9,311万円から平成27年度繰越明許費4,347万円と前年度の実質収支額2,769万円を差し引いた結果、1億2,195万円の黒字となりました。



## ◆市民1人あたりの歳入と歳出◆

※平成28年3月31日現在の人口(住民基本台帳・14,769人)で割って算出

| 歳 入       |  | 歳 出 |                        |
|-----------|--|-----|------------------------|
| 市税        | 皆さんが納めた税金                              | 議会費 | 議会運営にかかる費用             |
| 地方譲与税・交付金 | 消費税の一部として交付されたお金や自動車取得税などから分配されたお金など   | 総務費 | 地域振興や庁舎管理、情報化推進などの費用   |
| 地方交付税     | 一定のサービス水準を確保するため、人口や税収などに応じて国から配分されるお金 | 民生費 | 高齢者、障がい者、児童などの福祉の費用    |
| 分担金及び負担金  | 保育料などの特定の利益を受けるかたが負担されたお金              | 衛生費 | ごみ処理、保健衛生などの費用         |
| 使用料及び手数料  | 施設の使用料や住民票の手数料など                       | 労働費 | 雇用や労働環境向上などに対する費用      |
| 国・道支出金    | 市の事業に対し、国や道から交付されたお金                   | 農林費 | 農業振興や林業振興などの費用         |
| 繰越金       | 前年度から繰り越されたお金                          | 商工費 | 商工業振興や観光などの費用          |
| 市債        | 国や金融機関から借り入れたお金                        | 土木費 | 道路、河川、公園などの費用          |
| その他諸収入    | 寄附金や財産収入など                             | 消防費 | 消防、救急活動の費用             |
|           |  | 教育費 | 小中学校、生涯学習振興などの費用       |
|           |  | 公債費 | 国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用 |
|           |  | 職員費 | 市職員の給与や退職金             |
|           |  |     |                        |

## 特別会計

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。6つある特別会計に赤字の会計はありませんでした。

| 会計名      | 予算額        | 歳入         | 歳出         | 歳入歳出差引額 |
|----------|------------|------------|------------|---------|
| 奨学資金     | 1,669万円    | 1,684万円    | 1,663万円    | 21万円    |
| 国民健康保険   | 28億2,013万円 | 27億1,712万円 | 27億1,245万円 | 467万円   |
| 下水道事業    | 6億5,379万円  | 6億5,301万円  | 6億5,301万円  | 0円      |
| 介護保険事業   | 19億4,715万円 | 19億3,966万円 | 18億7,363万円 | 6,603万円 |
| 介護サービス事業 | 5億3,634万円  | 5億3,403万円  | 5億3,267万円  | 136万円   |
| 後期高齢者医療  | 2億8,469万円  | 2億7,324万円  | 2億7,313万円  | 11万円    |
| 合計       | 62億5,879万円 | 61億3,390万円 | 60億6,152万円 | 7,238万円 |

## 企業会計

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計です

| 会計名  | 収支区分  | 収入         | 支出         | 収支差引額      |
|------|-------|------------|------------|------------|
| 病院事業 | 収益的収支 | 20億9,506万円 | 21億2,031万円 | ▲2,525万円   |
|      | 資本的収支 | 5億1,863万円  | 5億7,138万円  | ▲5,275万円   |
| 水道事業 | 収益的収支 | 5億2,113万円  | 5億1,272万円  | 841万円      |
|      | 資本的収支 | 1億8,660万円  | 3億662万円    | ▲1億2,002万円 |

## 市の財産

市が市民の皆さんに対して、さまざまなサービスを提供するために持っている土地や建物、そのほかの財産は次のとおりです。平成28年3月31日現在

### ○基金

| 区分            | 金額        |
|---------------|-----------|
| 一般会計          |           |
| 財政調整基金        | 8億5,149万円 |
| 減債基金          | 4億7,178万円 |
| 地域振興基金        | 5億3,532万円 |
| 公共施設等整備管理基金   | 2,022万円   |
| 福祉基金          | 3億711万円   |
| 桜ヶ丘霊園基金       | 701万円     |
| 産業振興基金        | 1億4,165万円 |
| 学校教育施設整備基金    | 322万円     |
| 生涯学習・スポーツ振興基金 | 5,432万円   |
| 学校基金          | 0円        |
| 特別会計          |           |
| 奨学基金          | 1億1,142万円 |
| 国民健康保険基金      | 2億2,629万円 |
| 介護保険基金        | 2億3,356万円 |
| 保健福祉施設基金      | 2,358万円   |

### ○土地・建物

| 区分 | 面積                     |                           |
|----|------------------------|---------------------------|
| 土地 | 公の施設                   | 442万151m <sup>2</sup>     |
|    | 山林                     | 528万5,023m <sup>2</sup>   |
|    | その他                    | 103万9,862m <sup>2</sup>   |
|    | 計                      | 1,074万5,035m <sup>2</sup> |
| 建物 | 25万5,215m <sup>2</sup> |                           |

### ○有価証券・出資による権利

| 区分       | 金額        |
|----------|-----------|
| 有価証券(株券) | 4,224万円   |
| 出資金・出えん金 | 1億3,781万円 |

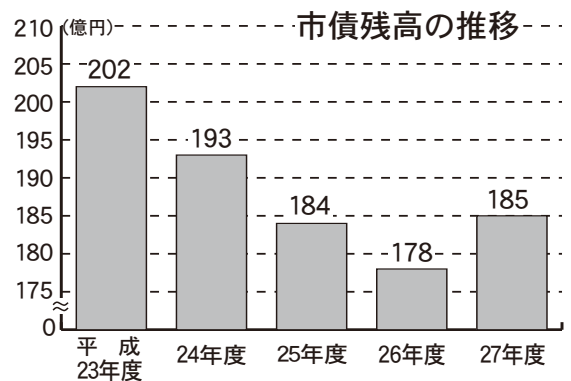
### ○北海道市町村備荒資金組合納付金

| 区分    | 金額         |
|-------|------------|
| 普通納付金 | 1億1,493万円  |
| 超過納付金 | 11億799万円   |
| 合計    | 12億2,292万円 |

## 市債

市債とは、市の借金のことです。一般、特別、企業各会計の市債残高の合計は、右のグラフのとおりです。

| 区分           | 平成27年度末現在   | 平成27年度元利償還金 |
|--------------|-------------|-------------|
| 一般会計         | 100億1,352万円 | 8億7,813万円   |
| 下水道事業特別会計    | 41億7,681万円  | 5億2,243万円   |
| 介護サービス事業特別会計 | 5億9,241万円   | 5,796万円     |
| 病院事業会計       | 9億7,995万円   | 2億4,942万円   |
| 水道事業会計       | 27億177万円    | 2億5,206万円   |
| 合計           | 184億6,446万円 | 19億6,000万円  |



## 都市計画税の使途状況をお知らせします

### ■都市計画税の使途内訳

| 区分        | 金額(千円)  | 構成比(%) |
|-----------|---------|--------|
| 下水道整備事業   | 12,435  | 2.0    |
| 地方債償還額(※) | 603,709 | 98.0   |
| 合計        | 616,144 | 100.0  |

※街路、公園、下水道事業のために借り入れた地方債償還額

### ■都市計画事業等の財源内訳

| 区分    | 金額(千円)  | 構成比(%) |
|-------|---------|--------|
| 都市計画税 | 61,030  | 9.9    |
| 地方債   | 11,300  | 1.8    |
| 一般財源等 | 542,679 | 88.1   |
| その他   | 1,135   | 0.2    |
| 合計    | 616,144 | 100.0  |

都市計画税は、街路、公園、下水道整備などの都市計画事業等の費用に充てるため課税される目的税で、都市計画区域のうち、用途地域内に土地や家を所有している方に、その資産の価格に応じて納めていただく税金です。

平成27年度の都市計画税(6,103万円)は、左記のとおり都市計画事業等(6億1,614万4千円)の財源として活用しました。

## 平成27年度 主な事業の決算額

| 事業名             | 決算額       | 事業の成果の内容   |
|-----------------|-----------|--|
| 防犯灯省エネ対策整備事業    | 1,134万円   | 平成24年度から4年計画で市内にある水銀灯をLED電灯に交換し、電気料金の低減を図りました。                               |
| ごみ処理事業          | 3,716万円   | 芦別市が加入する中空知衛生施設組合において、3市2町による広域共同処理を行うことにより、適正・円滑な処理が図られました。                 |
| 農業振興対策事業        | 2,008万円   | 認定農業者等が農業用機械施設等を導入する際の融資残に対して助成を行い、多様な経営体の育成・確保が図られました。                      |
| 国営かんがい排水事業      | 1,279万円   | 芦別北部地区国営かんがい排水事業により整備した施設を活用し、安定的な農業経営を図るため、国営土地改良事業芦別北部地区に係る地元負担金を支払いました。   |
| 路網整備事業          | 4,653万円   | 林内の路網を整備し、地域材の生産体制を確立し、木材を安定供給するとともに、内需振興産業である林業・木材産業の再生を図りました。              |
| 森林環境保全整備事業      | 3,985万円   | 市内民有林における森林資源の確保、地元木材の価値の向上、民有林林業の振興及び京都議定書目標達成計画に伴う二酸化炭素の吸収源対策を図りました。       |
| 道の駅整備事業         | 5,662万円   | 観光客の増加による地域活性化を図るため、道の駅の駐車可能台数を拡大し、利便性を高めることを目的とした外構整備工事を実施しました。             |
| 道路維持改良事業        | 1億866万円   | 上芦別あかね3号線ほか6路線の改良工事などを実施し、段差の解消及び高齢者や障がい者に配慮した歩車道の整備を図りました。                  |
| 除排雪事業           | 2,149万円   | 既存の歩道用ロータリー除雪車の老朽化により、除排雪作業に支障のないよう更新しました。                                   |
| 河川整備事業          | 1,623万円   | 快適、安全な河川環境の創出により、流域の安全確保を目的とした、新城川ほか2河川の護岸整備工事を実施しました。                       |
| 公営住宅整備事業        | 1,396万円   | 改良住宅地区再編のための移転補償及び公営住宅ひばり第二団地の屋根ふき替え工事を実施しました。                               |
| 消防総合庁舎建設事業      | 8億6,269万円 | 消防広域化に伴い、老朽化・狭隘化した消防総合庁舎を新たに建設するため、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事、消防庁舎建設外構工事などを実施しました。 |
| メールサイレンデジタル化事業  | 4,271万円   | 平成28年6月からの消防・救急無線デジタル化に向けて、メールサイレン設備をアナログ式からデジタル式へと更新しました。                   |
| 消防・救急無線デジタル化事業  | 1億1,559万円 | 平成28年6月からの消防・救急無線デジタル化に向けて、消防・救急無線設備をアナログ式からデジタル式へと更新しました。                   |
| 中学校施設整備事業       | 1,152万円   | 芦別中学校テニスコートの整備工事及び啓成中学校生徒用トイレ改修工事を実施し、教育環境の改善を図りました。                         |
| 市民会館・青年センター整備事業 | 2億5,245万円 | 災害時の避難所である市民会館・青年センターを耐震化するため、耐震補強工事、工事監理業務委託などを実施しました。                      |
| 図書館施設整備事業       | 1,012万円   | 視聴覚室用の備品更新及び視聴覚室の改修工事を実施し、図書館施設の充実を図りました。                                    |

## 平成27年度寄付金の状況を公表します

### ■受領した寄付金の状況

| 区分    | 件数   | 金額          |
|-------|------|-------------|
| 個人    | 631件 | 13,039,100円 |
| 企業・団体 | 2件   | 156,000円    |
| 合計    | 633件 | 13,195,100円 |

市には毎年、個人、企業・団体から多大なるご厚意のもと、多くの寄付金  
が寄せられています。善意で寄せられましたこの貴重な寄付金は、市のまち  
づくりの大きな支えとして、有効に活用させていただいており、皆様のご芳  
志に改めて感謝申し上げます。今後とも、皆様と「ふるさと芦別」の縁を大  
切に育んでまいりたいと考えておりますので、芦別の発展に温かいご支援を  
賜りますようお願い申し上げます。

### ■寄付金を活用した事業の運用状況

| 事業の種類             | 運用額         | 活用事業   |
|-------------------|-------------|--|
| まちづくり人材育成国際交流促進事業 | 2,633,383円  | 芦別市まちづくり人材育成国際交流促進事業補助金の一部として                              |
| 滝里ダム地域振興事業        | 4,224,199円  | 滝里ダムオートキャンプ場管理運営費として                                       |
| 花と木・緑化推進事業        | 507,600円    | 花と木・緑化推進業務委託料の一部として  |
| 福祉事業              | 5,000,000円  | 総合福祉センター管理運営費の一部として  |
| 桜ヶ丘霊園事業           | 1,628,218円  | 墓地管理運営費の一部として  |
| 農業担い手育成事業         | 369,309円    | 農業経営基盤確立借入金償還利子補給金として                                      |
| 学校教育施設整備事業        | 7,614,680円  | 市内中学校のどん帳、校舎天井梁の修繕費及び生徒用トイレの改修工事費として                       |
| 図書館整備事業           | 10,117,193円 | 図書館A V室の改修工事費及び同室の椅子、視聴覚機器等の購入費として                         |
| 青少年健全育成事業         | 913,774円    | スポーツ活動事業及び芦別つ子新聞発行业等、全20事業に対する補助金として                       |
| スポーツ振興事業          | 158,031円    | 高円宮賜杯全日本軟式野球大会北海道大会、ヨシカワ杯バウンドテニス大会、全国小学生ソフトテニス大会に対する補助金として |
| 保健福祉施設整備事業        | 19,224,000円 | 保健福祉施設すばる厨房外調機等改修工事費として                                    |
| 合計                | 52,390,387円 |  |

※上記運用に活用した以外の寄付金につきましては、基金として積み立て、後年度の事業に有効活用させていただくこととしました。



# 健全化判断比率と資金不足比率を公表します

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)により、毎年度、健全化判断比率と資金不足比率を算定し、公表することが義務づけられています。

平成27年度決算に基づいて算定された芦別市の健全化判断比率は、財政再建に取り組まなければならない基準(早期健全化基準)を下回っています。

## ●平成27年度決算に基づく健全化判断比率

| 区 分     | 実質赤字比率           | 連結実質赤字比率         | 実質公債費比率        | 将来負担比率           |
|---------|------------------|------------------|----------------|------------------|
| 公表数値    | —                | —                | 8.3<br>(9.7)   | 93.9<br>(116.6)  |
| 早期健全化基準 | 14.26<br>(14.29) | 19.26<br>(19.29) | 25.0<br>(25.0) | 350.0<br>(350.0) |
| 財政再生基準  | 20.00<br>(20.00) | 30.00<br>(30.00) | 35.0<br>(35.0) |                  |

※1 実質赤字比率または連結実質赤字比率がない場合は「—」と記載しています。

※2 ( )内は平成26年度決算に基づく数値です。

### 1 実質赤字比率

標準的な収入に対する赤字額

赤字なし

一般会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。  
家計簿に例えると、世帯主の収入に対して赤字額が占める割合になります。

### 2 連結実質赤字比率

標準的な収入に対する各会計を連結した赤字額

赤字なし

全ての会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。  
家計簿に例えると、世帯主の収入の合計に対して家族全員の赤字額が占める割合になります。

### 3 実質公債費比率

標準的な収入に対する借金返済の負担割合

健全

標準的な収入における地方債(国や銀行などからの借入金)の返済額などが占める割合を示した指標です。  
家計簿に例えると、住宅ローンなどの返済額が収入に占める割合になります。

### 4 将来負担比率

標準的な収入に対する将来の実質的な債務などの負担割合

健全

標準的な収入における今後負担することになっている負債額などが占める割合を示した指標です。  
家計簿に例えると、住宅ローンの残高が現在の収入に占める割合になります。

## ●平成27年度決算に基づく資金不足比率

| 企業会計・特別会計の名称 | 資金不足比率 | 経営健全化基準 |
|--------------|--------|---------|
| 水道事業会計       | —      | 20.0%   |
| 市立芦別病院事業会計   | —      | 20.0%   |
| 下水道事業特別会計    | —      | 20.0%   |

※資金不足比率がない場合は「—」と記載しています。

### 資金不足比率

公営企業会計の事業規模に対する赤字額

資金不足なし

毎年の事業収入に対して現金がどのくらい不足するのかわを示した指標です。  
家計簿に例えると、世帯主以外の家族一人一人の収入に対する赤字額の割合です。